

1) 1 班のデザインコンセプト案

①コンセプトのタイトル

「残す」・「変わり続ける」・「遊ぶ」 花巻

②コンセプトのメイン・テーマ(お奨めポイント)

「残すこと」

- ・花巻の魅力として「住んでいて落ち着く・住みやすい」というものがあり、これから花巻に住みたいと思う人を増やすためにも、花巻の良さを感じるような駅舎としたい。
- ・花巻の良さや素晴らしさとして、「宮沢賢治」や「自然豊かさ」や「名物や特産品」などがあり、その要素を駅舎のいたるところに散りばめることができると良い。また、そのことを、後世に残して大切にしていきたいような駅舎としたい。

「変わり続けること」

- ・駅舎は完成したら終わりではなく、色々な方が関わりながら、変化をしていくような場とすることが良い。そうしないと駅舎を利用するだけの場となってしまう。
- ・コミュニティの場（交流の場）、地域の人々が自然に集まるような場としたい。

「遊ぶこと」

- ・光の演出などの工夫をし、遊び心があるデザインとしたい。
- ・ワクワクする新しい発見や出会い、新しい使い方ができるようなものとする。

③デザインの概要

「宮沢賢治の世界を取り入れること」と「スタイリッシュな空間づくり」の両方のデザインを取り入れる。

○外観

「宮沢賢治の世界を散りばめる」

- ・駅なので銀河鉄道のイメージをメインとしつつ、賢治の他の物語を表現するものを外観に散りばめたい。(例：注文の多い料理店、ゴーシュ、シグナルとシグナレス)
- ・花巻市や宮沢賢治をモチーフにした花や木を植える。
- ・賢治の有名なシルエットの姿を入れる。
- ・「花巻駅に来た！」ということがわかるような印象的な場（SNS で紹介できるような）がーか所ほしい。

「スタイリッシュな空間づくり」

- ・賢治のイメージを取り入れつつ、外装はシンプルなものとする。
- ・木は温かさやぬくもりを感じるもので、人を惹きつけるので、全体でなくても、ポイントで使用したい。木をタイルばりで組み方を変えていく工法もよい。
- ・床や足元の演出を施して、視線が下でも気づきのあるものとする。

○内観

- ・外にあるものが中に、中にあるものが外に設置してあればそれだけで異空間になるので、そのような演出ができればよい。

④具体的なしつらえ

「遊びのしつらえ」

- ・時間や季節ごとに変わる光の角度に着目し、ステンドグラスを自由通路の一部に上手く配置し、光の表現を使いたい。
- ・夜も昼も楽しめるような、照明の使い方が重要である。間接照明で夜も光で演出したい。
- ・外の景色が見えるような窓（子どもも見えるような下部にも設置）をする。

「自由通路のしつらえ」

- ・自由通路は4mとなっているので、色々な使い方ができるのではないかな。
- ・待合室が狭いので、2階の自由通路の部分の東西に出入り口を設け、風が入らないように工夫をし、2階の自由通路の部分に色々な機能を持たせたい。
- ・花巻市や各地域の紹介やPRができるような場を設ける。
- ・作品（小学生・幼児・高齢者の方）の作品を展示できるようなスペースを設ける。
- ・勉強ができるような休憩スペースを設ける。

「花や木」

- ・外観にも内観にも花や木を取り入れたい。
- ・外には花壇や木（リンゴの木など）を置く。花壇は多年草と宿根草の2種を植え、通年で楽しめるものとしたい。
- ・内部の自由通路にも花壇を設置したい。
- ・花壇や木の管理には、地元の人や中高生が関わり合っていくと良い。

「みんなでサポート」

- ・このような場を継続し、サポートする住民の組織づくりや意識を高揚させていくことが重要である。
- ・今回参加した高校生と一緒に何かできないか。商品開発やイベントなども出来る（高校生の意見）。

「その他」

- ・駅前の空間を活用し、新しい取り組み（例：ライブなど）ができるようにしたい。
- ・地域の人が集まって来たり、駅利用の人以外も駅に来るような仕掛けづくりをしたい。

2) 2班のデザインコンセプト案

①コンセプトのタイトル

「This is 花巻」

②コンセプトのメイン・テーマ(お奨めポイント)

「花巻の要素がふんだんにある場所」

- ・「花巻と言ったらここ」という地域展示場としての機能をもたせた、皆さんに愛される場。
- ・花巻だけではなく、大迫、石鳥谷、東和の旧4自治体のすべてが表現されている場。
- ・これらを総じて、『花巻の缶詰』という表現で現したい。

「季節感豊かな場」

- ・おひなさま
- ・夏は、かわいい花が咲く
- ・クリスマスは、イルミネーションがきれいな場という、季節を感じられて、観光客の方も「わあ」ってなるような場

「交流人口の拡大に資する施設にしたい」

- ・国内外から来て楽しめるように、また、駅が目的地になるような場所にする。

③デザインの概要

【内装について】

- ・シンプル…色（白・黒・茶）
- ・照明で季節感を出したり、空間ごとに分ける。
(例：ワインの季節にはワイン色に。ただし勉強するところは明るめの色にする。)
- ・花巻、大迫、石鳥谷、東和の特産を何かで表す。例えば、石鳥谷のイネを使ったイネの壁を表現する。
- ・レトロなしつらえとして、照明を暖色系などにして、落ち着かせる。

【外装について】

- ・シンプル…色（白・黒・茶）
- ・花を植えたい。
- ・また、腰壁には木を活用したい。各地域の特産を何かしらの形で（モニュメントなどで）現わす。
- ・市内中学校とかにある、賢治の鉄でできたシルエットを配置して、まちなかの統一感を出したい。
→それをまねる！（鉄に限らず、木材でも）
- ・花巻の花を使った壁など
→スワッグ（ドライフラワー）の展示をする。
→湯口地区では花壇を市民の手によって維持している。
→冬はイルミネーションで対応する。

【その他】

- ・ 入口に清潔感があると、皆さんきれいに使ってくれる。
- ・ 花巻に来たことがわかるように、花巻っぽい音などをBGMにするのが良いと思う。
- ・ 写真撮影できる場所（例：シルエットと写真など）

④具体的なしつらえ

【照明について】

- ・ 学生の方が勉強しやすいLED照明
- ・ 場所の用途に合わせた照明や家具

【窓について】

- ・ 窓の位置⇒太陽光を計算して設置。
- ・ 窓はステンドグラス（日差し強い）にする。
- ・ 窓がないところや、外壁であれば、見えるところに絵を掲示したい。

【一番良く使う、学生が過しやすい場】

- ・ モニターの設置
- ・ 勉強スペースとして、コンセントやwi-fiが完備されていると、学生もちろん、外国人観光客にもありがたい施設になる。

【案内について】

- ・ 電車が着くと音が流れる仕様に。
- ・ 案内表示⇒周辺規模広げて（例：東和）

【環境性能について】

- ・ 温度調整
 - ⇒節電も考えて非常用電源が確保できるバッテリー付きソーラーパネル
 - ⇒自然エネルギーの活用として、ソーラーの他、自然風を取り込む体に優しい空調
 - ⇒災害対応のデザイン

3) 3班のデザインコンセプト案

①コンセプトのタイトル

「Feel 花巻」

～花巻まるごと詰め込んだ感じる花巻盛りだくさん～

②コンセプトのメイン・テーマ(お奨めポイント)

「花巻をまるごと感じられる、昼も夜も明るい駅」を演出するため、花と鹿踊りをモチーフに素材には木材を多用して花巻らしさを感じさせます。また、窓によって自然光をうまく使い明るく温かみのある駅を実現します。

「要素・テーマ」

- ・明るい
- ・花巻をまるごと
- ・鹿踊り（親しみやすくキャラ化）

③デザインの概要

- ・外観はシンプルで1色の壁とし、プロジェクションマッピングが出来るよう凹凸を少なくします。
- ・東側の階段部分にはステンドグラスの窓を設置し、駅舎外側にはこれまで使っていた時計を設置し、駅舎中には機能的な時計とします。
- ・自由通路などには大きな窓を設置し、朝日や夕日、景色が見え、子供達が電車を見れるようにします。天窗や電車を見られるようにします。
- ・ステンドグラスや壁、ファニチャーの模様には花や鹿踊りの衣装のモチーフを多用し、花巻を感じられるようにします。
- ・駅舎の中は木材を多用し、温かさを重視します。

「具体的なアイデア」

- ・鹿踊りをモチーフにしたアイコン、のれん。
 - ・エスカレーターの側の壁の外観は白（プロジェクションマッピングができるようにシンプルに！）で、凹凸があまりないこと。
 - ・ステンドグラスの窓が1部あっても良い。
 - ・ステンドグラスのモチーフは鹿踊り、花（バラ、リンドウなど）。
 - ・白でも黒でもブロックレンガ、アイボリーでもよい。
 - ・鹿踊りの刺繍（衣装、ベンチのクッション、壁）。
- ⇒流派ごとに模様が違うので紹介しつつ、モチーフに取り入れたい

④具体的なしつらえ

「駅舎の時計」

- ・外観…デザイン重視（これまでと同じ時計を使うストーリー）
- ・内観…機能的な時計にする（最近駅舎内の時計が故障？見れなくて不便）

「自由通路」

- ・大きい窓で景色と電車が見える（天窗、床も電車が見える）…課題は窓が汚くなること。掃除が大変そうだ。
- ・床も電車も見えるように一部ガラスにするとか（東京タワーにあるような）。

「その他の要望」

- ・朝日と夕日が見える所に大きな窓（窓枠が四角く額縁的な）。
⇒あかない窓（枠、フレームがない）
- ・座るベンチが絶対欲しい（材質は木材で自由通路のあちこちに欲しい）。
- ・Wi-Fi 欲しい（すぐにインスタ投稿できちゃう）。
- ・待合室やテーブルが欲しい。
- ・生け花をいけるスペースを駅舎の中に設けたい。
- ・駅舎の壁にパネルヒーターが欲しい。
- ・「教えてボード」を設置し、知らない人との繋がり。
⇒分からない問題をみんなで解く（伝言板）。
- ・お土産を展示、販売をしてくれるスペースが欲しい。
- ・待合室を明るくして欲しい。
⇒寒いのだめ、白っぽい色で明るく。

4) 4 班のデザインコンセプト案

①コンセプトのタイトル

あの頃の自分にもう一度出会える花巻

②コンセプトのメイン・テーマ(お奨めポイント)

暮らしてきた場所や世代を超えて「あの頃」をふと思い出す場所

- ・駅は旅のスタートとゴールである。通学、通勤、出張、旅行はもとより、進学や就職による引越し、単身赴任、久々の再開など、出会いや別れの場となる。そんな多くの人を持つ「あの頃」を、花巻で生まれ育った人に限らず、市外、県外の人も思い出す場にする。
- ・「宮沢賢治」や「レトロ感」が、日本人であれば誰もが持つであろう「あの頃」の記憶を想起させる。
- ・「宮沢賢治」作品は多くの人々が幼少期に触れてきたはずである。
- ・「レトロ感」が大正～昭和の時代を想起させる。花巻市街の雰囲気とも合っており、まちと駅舎がスムーズに接続される。

これからの「あの頃」を作り出していく場所

- ・「あの頃」を思い出してもらおうと共に、これからこの駅舎で「あの頃」を作り出していく。そのためにも、駅舎を「日常的な利用」ができる場にする。

③デザインの概要

- ・「あの頃」を表現するための「宮沢賢治」「レトロ」をモチーフとして取り入れる。
- ・「あの頃」を作り出すために「日常的な利用」を促進する。

「宮沢賢治」

- ・作品としては「銀河鉄道の夜」「星めぐりの歌」「よだかの星」「グズコーブドリの伝記」が挙げられる。多くの人にとって記憶に残る作品である。
- ・駅を利用する人の記憶に残るように、色や絵などで各種作品を抽象的に表現したい。
- ・一方、作品の文章をそのまま表現し、イメージを受け手側に任せる仕掛けがあっても良い。
- ・夜空が思い浮かぶので、通路の天井に夜空や天の川を表現する。

「レトロ」

- ・賢治が生きた大正時代や、花巻市街の昭和の雰囲気を表現する。
- ・花巻市街が昔の雰囲気を良く残しているので参考にする。

「日常的な利用」

- ・花を通じた地域との交流を生み出す。花壇があれば、地域の方や小学生を巻き込める。市内にフラワーアレンジメントを作成している団体があるので、連携体制を作れると良い。
- ・昔、駅にあったような掲示板(黒板のイメージ)を設置する。掲示板を通して交流を図る。
- ・観光客と市民の接点をつくる。
- ・マルシェを開催してリアルな交流を生み出す。

- ・駅舎で勉強する高校生が多いため、「勉強スペース」を意識した場をつくる。仕切り、椅子、明るさ等に配慮があると良い。
- ・様々な展示や仕掛けは、子どもの視点（高さ）でも楽しめることを意識する。
- ・写真展などの催しを行えると良い。

④具体的なしつらえ

「時計」

- ・歴代の駅舎にある時計を参考にしたデザインとする。

「ベンチ」

- ・今のベンチは木材を使っているので温かみはあるが、硬いのでずっと座るには辛い。

「照明」

- ・今の駅内は勉強するには暗い。勉強できるスペースはもっと明るくする。

「窓」

- ・ステンドグラスを設置する。
- ・朝日と夕日が見える位置に窓を設置する。空が色とりどりに見えてきれいである。
- ・小さな子どもでも外が見える位置に窓を設置する。